

事業報告

活動名	日本技術士会東北本部岩手県支部 2022年新春講演会 『自然とともに生きた縄文人』 (シリーズ岩手を知る (第23回))
主催	公益社団法人 日本技術士会 東北本部 岩手県支部
日時	2022年1月29日(土) 15:00~16:30
場所	エスポワールいわて(盛岡市中央通1-1-38)
参加人数等	参加者35名 (技術士:32名 一般:3名) Web聴講参加者12名
活動内容	

【講師】菅野 紀子 氏
一戸町教育委員会 世界遺産登録推進室

令和3年7月に世界遺産に登録された「北海道・北東北の縄文遺跡群」。一戸町に所在する御所野遺跡もこの遺跡群に含まれている。今回の講演会では、この御所野遺跡について、下記の5つの視点よりご紹介いただいた。

1. 御所野遺跡の集落構造とその変遷
2. 焼失竪穴建物跡の発掘調査
3. 御所野遺跡の実験研究
4. 御所野ムラの人々のくらしを探る
5. 地域とともに歩む御所野遺跡

一戸町のこの場所に縄文人のムラができたのは、この地が高台地であり災害が起こりにくく、食べ物が豊かで、土器に必要な粘土が取れたためだという。この御所野遺跡から住居跡等の痕跡が発掘され、様々な実験が行われた。

御所野遺跡の発掘調査、保存、そして世界遺産登録に至るまでには多くの方の尽力、特に地域の人の協力があったとの話が大変興味深く、いかに地域の方々に大切にされているかが伝わってきた。

今回は久しぶりに一般の方にも講演会に参加していただくことが出来た。

また、会員限定ではあるがWeb配信も実施することができ、幅広い方々に縄文人、御所野遺跡について知見を得ることが出来た。

(記: 森 千夏)



新型コロナウイルス感染防止対策検温・消毒の実施



講師 菅野 紀子 氏



会場の様子